

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3,141	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換 排出 量 算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		3,141	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
温室効果ガス 総排出量	3,205	t-CO ₂	3,141	t-CO ₂	3,493	t-CO ₂	3,731	t-CO ₂	3,141	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			2.0	%	▲ 9.0	%	▲ 16.4	%	2.0	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの 排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりの みなし排出量										
削減率（対基準年度）						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和7年2月から休場期間に入ったため、数値としては目標を達成した。
ただし、月単位で換算すると目標値には届いていなく、要因として前年から引き続いて夏期の外気温が高く、動力・電灯設備にかかる電力量が多かったことが考えられる。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源行動実践・冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・空調監視盤における台数制御及び節電運転制御 ・冷房温度27℃、暖房温度20℃に努める 	動力負荷を減らし空調ガスの消費を抑制する	<ul style="list-style-type: none"> ・基準設定温度を基に省エネ運転を行った。 ・共用空調機間欠運転、冷温水機省エネ制御運転を行った。
省エネルギー・省資源行動実践・照明	<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光管をLEDに切り替える ・使用してない部屋や昼休み、時間外の消灯を徹底する 	ハード対策を行い電力量を減らす	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に際して時間差点灯を実施し、こまめな消灯を実施した。
省エネルギー・省資源行動実践・OA機器	パソコン・コピー機の離席・退館時のスイッチオフ	不在時不要な電力を使わない	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ設定及び退館時スイッチオフを実行した。
廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピーによるコピー用紙の削減 ・オフィス古紙、包装用紙を分別回収し、リサイクルする 		<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピーを行い、古紙並びにその他包装紙を分別回収しリサイクルした。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理システムにより、継続的に改善を図っている。 ・スタッフへ環境教育を進めている。 ・事務用品等の購入に際し、可能な限りグリーン購入法対象品を選定している。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

省エネルギー・省資源行動実践・照明（毎月8日ライトアップ消灯の励行）
